



衣川台だより

発行日 平成 25年3月 1日
発行者 衣川台自治会総務部
世帯数 332 世帯

冬号の内容

1. 平成24年度衣川台総会のお知らせ
2. 衣川台環境維持管理組合が発展的に解散
3. 1年を振り返って
4. その他

1. 平成24年度衣川台総会のお知らせ

本年度役員による自治会活動報告等と、新年度の役員のご承認を頂きたく「衣川台自治会・自治防災部」の平成 24 年度総会を下記要領で開催いたします。

尚、開催資料は 3 月初旬に配布いたしますので皆様のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

開催日時：3 月 24 日（日） 午後 1 時～

場 所：衣川台南自治会館

2. 衣川台環境維持管理組合が発展的に解散

2月24日（日）に南自治会館で環境維持管理組合臨時総会が開催され、H24年度理事会が提案した組合解散議案が慎重審議の末に承認され、昭和62年以來26年間続いた組合を解散することが決定されました。これを受け続いて同日に開催された自治会臨時総会で、上記組合基金残金の受け皿として、自治会共有施設等特別会計が設置され、ここに基金残金と自治会館維持管理会計の残金及び自治会会計からの繰入金を加え開始時財産 1,067 万円でスタートすることになりました。今後自治会一般会計繰越金の中から毎年20万円程度をこの特別会計に繰り入れ自治会館の修理・改築等に備える事になりました。

3. 1 年を振り返って

自治会長 中村 十規人（5 組）

平成 24 年春、衣川台自治会の役員になりさらに思いもかけぬ自治会長を拝命し、早いもので、もう 1 年になりました。

平成 24 年度の自治会は年度当初に立てた春祭り・夏祭りや琵琶湖一斉清掃などの事業計画の実行と 23 年度から引き継いだ衣川台・仰木の里連絡道路や環境維持管理組合解散問題などの課題に対し傘下団体や住民の皆様のご協力を得て役員一同と真摯に取り組んで参りました。取組の詳細は、3 月総会の事業報告に譲るとして、中でも特に心に残るのは大雨の中での夏祭りの実施と環境維持管理組合の解散問題でした。夏祭りは住民の皆さんの大きなお力をお借りし後始末も含め無事に楽しく終えることができたことを心からほつとしています。また、環境維持管理組合の解散問題は長年の懸案事項であり来年度以降も衣川台の財政健全化、安定した収支といった課題を残しつつ自治会の共有施設等特別会計に統合できたことは本当に良かったと安堵しているところです。

衣川台は開設後 30 年以上経過し住民の高齢化、転勤等の移動、ライフスタイルの多様化等住民意識の変化とともに諸設備各種機器等の更新時期にさしかかっているものも多く自治会の取組事項、参画方法等の見直しを検討す

る時期に来ていると思います。

取り組みのキーワードのひとつは『コミュニケーション』、そして『衣川台に住んで良かった』と言えるよう住民が連携し中長期の視点に立って諸課題の解決にむけ対処して行くことが重要である-と思います。

最後になりましたが住民の皆様のご多大なご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、平成 25 年度がさらに充実した良い年でありますことを祈念し締めくくらせていただきます。

総務部長 牛尾 定勝(11組)

中村さんを自治会長に推薦した都合で、その補佐をするためにお引き受けした総務部長ですが、防災総括班長とのかけもちも予想通り超多忙で、必要最低限の事を何とかこなしてきた1年でした。しかし中村会長には期待通り衣川台の顔として活躍いただき、メインイベントの春祭り、夏祭り、市民運動会では文体部長を中心に若い組長さん達が、よくまとまり、玉入れ、綱引き、地区別リレーに見られた様に例年以上の盛り上がりと成績を残していただきました。そして、一年を通しての課題であった環境維持管理組合解散問題は、順当で既成のルールに乗った当然の結論とは言え、異論もあった中で無事、衣川台にとって最も良い形の総会議決が得られたことは私にとっても大きな喜びでした。ご協力いただいた皆様に感謝しております。

文体部長 尻江 政孝(8組)

一年という時間が、これほど短いものなのか？

常に何かに追われ、振りかえることもなく、あっという間に月日が流れてしまいました。今、新たな役員さんも決まり、少し一息つけるようになり、思い返してみると、確かにしんどい思いをしたのですが、そんなことよりもご助力頂いた皆様や各行事に参加頂いた皆様の顔が思い浮かびます。部長が至らぬばかりに、文体部員の皆様をはじめ、役員、傘下団体の皆様にはいろいろご迷惑をおかけしました。

皆様の協力を得て、どうにかですが、役職を全うすることができたこと、貴重な経験をさせていただいたこと、深く感謝しています。

一年間、どうもありがとうございました。

環境保全部長 白井 孝夫(1組)

この1年を振り返って考えてみると、生活基盤である本来の仕事と、自治会の行事を、両立するという事はなかなか大変であり、やはり重きは仕事においていたと思う。その為に、自治会の行事や会議に参加できないことも多々あり、皆さんにご迷惑をかけてしまったことは心苦しい限りです。

ただこの1年を通じて一番に感じたことは、自治会における運営方法をもっと簡素化できる仕組みに考えないと、若い世代の人達は大変であると感じたのは、この私だけでしょうか？

本当は皆さんもそう思っているのではないのでしょうか？

もっと気の利いたコメントを書けばよいのですが、1年間自治会運営に携わらせて頂いて、率直な意見を発しようと思いました。お叱りの声もあるかと存じますが、ご配慮頂ければ幸いです。最後に、1年もの間、一緒に携わってきた24年度の役員の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。

自治会会計を担当して

会計 進藤 昭次(3組)

皆様の格別の協力により、この1年間どうにか任務を全うすることができたような気がします。心より御礼申し上げます。

在任中、下記の3項目について、新役員以降の方々の英知を結集し解決策を見出して頂きたいと思います。

1. 限界集落に近付きつつある衣川台自治会運営とスーパーシニア会員の余生が楽しく過せるような魅力的な行事の計画。
2. 一般会計の収支残高を多く残すために自治会の増額等の安易な方法ではなく、画期的な方策。
3. 預貯金の安全性を保つため、ペイオフについて考えていただきたい。

4. その他

衣川台オアシス公園愛護会の煌めき大津環境賞受賞

大津市より昨年12月地道な活動を通して環境への負荷の少ない快適なまちの実現に功績のあった団体として、衣川台オアシス公園愛護会(代表11組田中正彦さん)が「煌めき大津環境賞」に認定され、表彰されました。

公園愛護会は、平成14年2月21日衣川台住民有志でボランティアグループを組織発足、団地内にある児童公園(南公園)、



児童遊園地(北公園、西公園)の日常維持管理作業(除草、清掃)、史跡衣川廃寺跡除草作業を通じて衣川台団地内の環境美化に貢献しているほか、自治会活動に積極的に参加し、住民の親睦交流に大き



く貢献いただいています。活動履歴はすでに11年、特に夏祭りのビッグパワーテント等の会場設営とあと片づけや、防災部活動の主力メンバーとして活躍いただき、自治会としても感謝しているところです。1月6日には南自治会館で受賞祝賀会が開催され、大いに祝い合うと共に愛護会リーダーグループの若返りが図られることになった由で、今後の継続・発展が期待されています。

衣川台の新サークル

「寺子屋」

ができました！！

この度、新しくサークル「寺子屋」を設立いたしました。

これは衣川台にお住まいの方全員を対象としたサークルです。

「あんなことしたい！！」「こんなことあったらいいな」など…日ごろの思いをカタチにするお手伝いをいたしております。2月8日に開催いたしました『座談会』では、30代～70代の男女14名が参加くださり、大好きな衣川台をもっと好きになる為のお知恵を頂戴いたしました。

『にっこり笑ってご挨拶』をコミュニケーションの基として、不定期ですが様々な企画をしていきたいと思っております。機会がございましたら是非参加くださいませ。

また、皆様のご意見もお待ちしております。

寺子屋スタッフ 9組:星川 弘美
14組:吉田 祥代
2組:首藤 祥子

♥編集後記♥

今年度最終の号となりました。当初は、どのような記事を書けばよいか等、戸惑うことも多かったのですが、総務部長の牛尾さんをはじめ、自治会の多くの方々に快く原稿を書いて頂いたり、写真を頂いたりと助けていただき何とか乗り切ることができました。ありがとうございました。また素人編集で読みづらかった事お詫びいたします。 横山

